

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

## 資料室

[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [労働安全衛生](#) | [事故原因の5M](#)[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[▶ キーワード検索はこちら](#)

### 事故原因の5M

#### Man（人）

頭在化要因（不注意、油断、考え違い、操作ミスなど）を追求しても事故防止の手掛りとはならない。うして、このような不注意を起こすに至ったのかという、潜在要因を見つけ出す必要がある。潜在要因の除去こそ事故防止となる。

#### Machine（機械）

機械操作の計画、設計、作業、設備、運用をする人である。技能のレベルは、作業環境は、いかなる手順で使用されるか、人間特性を理解した上での機械製作（者）が必要。機械製作者のヒューマン・ファクターが存在する。使用する側（人間指向型・素人）に立っての機械の作り方が必要。

#### Media（環境）

作業環境（温度・湿度、騒音、振動、粉じん、放射線、照明などの明るさ・まぶしさ、色調など）、多くの因子が人間の影響を与える。人間-機械のインターフェイスのあり方もメディアの中で考えなければならない。機械側からは異常状態を表示する警報器・灯、警報音はたくさん作ってとなるが、使用者側からは、チョコチョコなる警報音は迷惑となる。オオカミ少年となる。

#### Managemet（管理）

管理者の役割は重要。人間-機械-環境系のいずれの要因も支配する立場。管理者は安全の原点である。管理者の安全哲学とヒューマン・ファクターについての理解度。経済性・効率性の追求と安全衛生は相反するとの認識が多い。安全への投資は無効投資と感ずる場合がある。現代は、安全性と経済性は相反するものではなくベクトルは同一でなければならない。「もし、安全への投資は高いものであると思ったら事故を発生させて見たら良い。」

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録**  
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

